

資料 1 p44~45ロジックモデル拡大版

施策		指標	現状値
1 循環器病の予防に関する啓発			
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の改善に係る啓発 子どもの頃からの循環器病に関する知識の啓発 家庭血圧測定の普及や正しい測り方の啓発 心房細動の早期発見に係る情報発信 ヒートショックの注意喚起 再発・重症化予防のための、かかりつけ医等の機能強化・資質向上 心房細動の早期発見及び適切な抗凝固療法の実施を促進するための、多職種連携及び地域連携の促進、医療従事者の資質向上 	共通	1日あたりの食塩摂取量	男性 10.7g 女性 8.8g
2 特定健康診査、特定保健指導の実施率向上等に向けた取組			
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した効果的な受診勧奨の促進 特定健康診査や特定保健指導に係る従事者の資質向上 保険者と連携した受診勧奨 	共通	特定健康診査の実施率	56.5%

3 発症時の対応に関する啓発			
<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中の初期症状や早期受診の重要性の情報発信 心血管疾患の初期症状の早期発見や早期対応の重要性の啓発 	脳	脳卒中の初期症状を全て知っている者の割合	41.0%
	心	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民により除細動が実施された割合	3.4%
	心	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	55.9%
4 専門医療機関への速やかな搬送体制の整備			
病院前救護体制及び救急搬送体制の強化	脳	脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する6項目の観察指標を利用している消防本部数	調査中
	共通	運用救急救命士数(運用率)	94.6%

5 専門的医療提供体制の構築			
<ul style="list-style-type: none"> 病期に応じた切れ目ない医療提供体制の構築 デジタル技術の活用等や、医師等の確保・育成による医療体制の整備 小児期・若年期の脳卒中に関する、移行医療支援、療養生活に係る情報提供・相談支援等のあり方について検討 	脳	日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医数(常勤)	47人
	脳	日本脳神経血管内科治療学会認定 脳血管内治療専門医数(常勤)	17人
	心	循環器内科医師数(人口10万人対)	10.7人
	心	心臓血管外科医師数(人口10万人対)	2.3人

6 専門医療スタッフによりリハビリテーションが実施できる体制の構築			
<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションに係わる医療従事者の資質向上 リハビリテーションに係わる多職種連携の促進 	脳	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)の算定のある医療機関届出施設数	22施設
	心	心大血管リハビリテーション料(I)届出施設数	23施設

7 自宅等で、生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション、療養支援が受けられる体制の構築			
<ul style="list-style-type: none"> (再掲)再発・重症化予防のための、かかりつけ医等の機能強化・資質向上 在宅療養支援を担う看護師等を対象とした研修会の実施 在宅療養支援ガイドブックの活用促進 (再掲)心房細動の早期発見及び適切な抗凝固療法の実施を促進するための、多職種連携及び・地域連携の促進、医療従事者の資質向上 口腔ケアに関する関係者の資質向上等による誤嚥性肺炎等の合併症の予防推進 	共通	訪問診療を実施している診療所・病院数	280施設
	心	心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数	20人

8 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援			
<ul style="list-style-type: none"> 循環器病患者等に対する適切な相談支援等のための医療機関や市町等の連携促進 循環器病の必要な情報にアクセスできる環境の整備を推進するための、情報収集及び提供促進 	共通	地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に関する窓口の設置(人口10万人対)	11.1
9 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援			
<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族の現状や課題・悩み等の情報収集による実態把握 関係機関と連携し、情報提供・相談支援ができる体制整備を推進 循環器病の後遺症を有する者が、症状や程度に応じて、適切な診断及び治療、福祉サービス等を受けられる環境整備 循環器病の後遺症の県民理解の促進 失語症・高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援等の体制整備 てんかん診療連携等の体制整備 失語症や高次脳機能障害を持つ患者や家族に対する支援について検討 	脳	脳卒中・心臓病等総合支援センター延べ支援件数	12,264件
	脳	脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数	3施設
	心	循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数	36施設
10 治療と仕事の両立支援・就労支援			
<ul style="list-style-type: none"> 患者・事業所・医療機関等の関係者間における情報共有、事業所の理解促進 理解促進のための啓発、セミナーの開催 健康経営事業所の認定 	共通	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数(人口10万人対)	7.3人

中間アウトカム		現状値	目標値
1 脳卒中の発症及び再発が予防できる			
心血管疾患の発症予防及び発症後の管理ができる			
脳	指標	脳卒中発症登録に占める再発者の割合	23.2% 20%以下
共通	指標	収縮期(最高)血圧の平均値	128.9mmHg 127mmHg以下※

※栃木県の健康増進計画(とちぎ健康21プラン(2期計画))の目標値
なお、令和7年度からの次期健康増進計画を踏まえ目標値との調和を図る

2 患者が早期に疾患に応じた専門的な診療が可能な医療機関に到着することができる			
脳	指標	脳卒中発症後3時間以内に受診した患者の割合	38.3% 50%以上
共通	指標	現場到着から医師引継ぎまでに要した平均時間	38.8分 減少

3 患者の来院後速やかに初期診療を開始するとともに、疾患に応じた専門的な治療が受けられる			
脳	指標	脳梗塞に対するtPAによる血栓溶解療法の実施件数	県北* 県西* 宇都宮69 県東* 県南88 両毛24 増加
心	指標	PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通件数	県北68件 県西15件 宇都宮130件 県東* 県南225件 両毛44件 増加

4 患者が入院時から在宅へ復帰までの継続したリハビリテーションが受けられる			
脳	指標	脳卒中発症後3日以内にリハビリテーションを実施した患者の割合	80.3% 増加
心	指標	入院心血管リハビリテーションの実施件数	4,222件 増加

5 日常生活への復帰、生活機能の維持・向上のための治療及びリハビリテーションを受けることができる			
共通	指標	訪問診療を受けた患者数(1か月あたり)	7,900人 9,088件

6 よりよい社会生活を送るための社会連携体制が構築され、必要な支援を受けることができる			
脳	指標	脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	40件 増加
脳	指標	脳卒中患者における地域連携クリティカルパスの実施件数	調査中 増加
心	指標	心血管疾患における介護連携指導の実施件数	1,153件 増加
心	指標	心血管疾患患者における地域連携クリティカルパスの実施件数	調査中 増加

分野アウトカム(最終アウトカム)		現状値	目標値
1 循環器病の年齢調整死亡率が減少している			
脳	指標	脳血管疾患の年齢調整死亡率(男性)	119.7人 全国値以下
脳	指標	脳血管疾患の年齢調整死亡率(女性)	74.5人 全国値以下
脳	指標	脳梗塞の年齢調整死亡率(男性)	61.8人 全国値以下
脳	指標	脳梗塞の年齢調整死亡率(女性)	36.8人 全国値以下
心	指標	心疾患患者の年齢調整死亡率(男性)	213.0人 全国値以下
心	指標	心疾患患者の年齢調整死亡率(女性)	118.2人 全国値以下
心	指標	虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率(男性)	112.7人 全国値以下
心	指標	虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率(女性)	50.5人 全国値以下
心	指標	大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率(男性)	16.9人 全国値以下
心	指標	大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率(女性)	11.0人 全国値以下
心	指標	心不全患者の年齢調整死亡率(男性)	61.6人 減少
心	指標	心不全患者の年齢調整死亡率(女性)	42.0人 減少

2 循環器病の患者が自分らしい生活ができる			
脳	指標	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	57% 65%以上
脳	指標	脳血管疾患の平均在院日数	76.2日 減少
脳	指標	退院時機能障害(mRS)が2~5であった患者の割合	60.5% 減少
心	指標	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	93.0% 100%
心	指標	在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	80.9% 増加
心	指標	心血管疾患の退院患者平均在院日数	17.1日 減少
心	指標	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	7.2日 減少